

Collaborative Security

Internet Society のセキュリティに関する取り組み

2015年7月28日(火)

ISOC日本支部

藤崎 智宏



ISOC(Internet Society)とは

- 1992年設立の国際非営利組織
- 「インターネットの発展を牽引する」組織として世界中で活動中
 - 地域支部(Chapter) 115(2015/5/25現在)
 - 個人会員 約65,000人
 - 組織会員 145組織
- キーワードは「Internet for everyone」
- 活動内容は、 <http://www.isoc.org> をご参照下さい。



Collaborative Security

- ISOC が提唱するセキュリティに対する考え方
- 特定のセキュリティ技術を指すものではない
- 概念

インターネットは、ボランティアベースの協力と協調により発展してきた。この協力・協調は、今後のインターネットの更なる発展を支える不可欠な要素である。インターネットのセキュリティを考慮する際にも、協力・協調の考え方は重要である。

Collaborative Security の5要素

1. Fostering confidence and protecting opportunities (信用の促進と機会の保護)

- セキュリティ確保の目的は、インターネットへの信用の維持し、インターネットが経済的・社会的な革新の原動力としてが継続的に発展できるようにすること。
 - ー インターネットにおけるセキュリティパラダイムは、単なる顕在化した損害の防止方法ではNG.セキュリティソリューションは、上記目標を達成するよう、設計・実施すべき。

Collaborative Security の5要素

2. Collective Responsibility (連帯責任)

- インターネットへの参加者は、インターネット全体のシステムとしての責任を共有する。
 - ー インターネットは、ネットワークどうしがグローバルに接続されたネットワークであり、グローバルな共有資源を利用した、高度に相互依存したシステムである。インターネットに参加することは、グローバルに相互依存することである。

Collaborative Security の5要素

3. Fundamental Properties and Values (基本的なプロパティと価値)

- セキュリティソリューションは、基本的人権とインターネットの基本的特性 (the *Internet Invariants*) に適合すべきである。
 - The Internet Invariants: オープンな標準, ボランタリの協調, 再利用可能な基本要素, 統一性, 許可の必要ない革新性, 広域到達性

Collaborative Security の5要素

4. Evolution and Consensus (革新と合意)

- セキュリティソリューションは、経験に基づき、合意と革新性によって開発されたものである必要がある。
- ー セキュリティソリューションは改善できるよう、柔軟性を持ち、新たなプラットフォームやプロトコルに対応できる必要がある。また、インターネットのような発展の速いシステムでは、オープンな合意に基づく参加型アプローチが堅牢性、柔軟性、即応性に優れていることが経験上、示されている。

Collaborative Security の5要素

5. Think Globally, act Locally (グローバルに考え, ローカルに行動する)

- ボランティアによるボトムアップ・自己組織化により, 最も効果のあるソリューションに到達する可能性がある.
- ー インターネットにおいて, セキュリティや信用の確保を実行するには, 別々の責任と役割を持った別々の参加者が, 課題の発生地点付近で対応する必要がある.

まとめ

- インターネットにおけるセキュリティ課題に対応する Collaborative Securityアプローチは、社会的・経済的革新の原動力となる将来のオープンなインターネットを維持するために必須。
- 制御中心のない、ネットワークの集合であるインターネットは、特定の存在や組織が維持しているものではない。
- セキュリティ課題は、全てのステークホルダが、グローバルインターネットのアーキテクチャと人権ということを考慮しながら協調と責任の共有という意識を持って取り組むことが重要。

The Internet is for everyone: let's work together to realize its full potential.

各種情報

- Internet Society
 - <http://internetsociety.org/> or <http://www.isoc.org>
- ISOC Collaborative Security
 - <http://www.internetsociety.org/collaborativesecurity>
- ISOC-JP
 - <http://www.isoc.jp/>

皆様のご参加をお待ちしております

- ISOC会員になるには

<http://www.isoc.org> からアクセスできます

<http://www.internetsociety.org/get-involved/individuals>

The screenshot shows the Internet Society website. The top navigation bar includes links for Home, Connect Login, Become a Member, Find a Chapter, Blog, News, and language options (العربية, 简体中文). The main content area is titled 'Join the Internet Society' and includes a thank you message, instructions to fill out the form, and a list of required fields: Username*, Password*, Repeat Password*, First Name*, Last Name*, Email*, and Country*. A 'Join Now' button is visible, along with a link to 'Cancel and return to login screen'. On the left, a sidebar menu lists 'Get Involved' options like 'Attend an Event', 'Join the Community', 'Individuals', 'Organisations and Corporations', 'Volunteer', and 'Spread the Word'. The 'Individuals' page content includes a photo of a woman and text explaining the membership options: Global Member (free) and Sustaining Member (annual fee \$75). A red circle highlights the 'membership form' link in the 'Joining the Internet Society is easy' section.